

藍住町 議会だより

第 123 号

2025(令和7)年 11月25日

藍住町議会
ホームページ
(アドレス)
<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



もしもに
備えて
—命を守る3動作—

9月定例会
令和6年度一般会計・特別会計決算認定 …… P.3
常任委員会 ～主な質疑～ …………… P.5～7
一般質問 ～町政のここが聞きたい～ …… P.8～12
藍住町議会夏休み絵画コンクール入賞者…… P.15
議会のうごき・わたしの一言…………… P.16

9月定例会

9月議会定例会が9月3日から24日までの22日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

～町長提案～

令和6年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定	可	決
令和6年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)歳入歳出決算の認定	可	決
令和6年度藍住町特別会計(介護保険事業)歳入歳出決算の認定	可	決
令和6年度藍住町特別会計(介護サービス事業)歳入歳出決算の認定	可	決
令和6年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)歳入歳出決算の認定	可	決
令和6年度藍住町水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算の認定	可	決
令和6年度藍住町下水道事業会計歳入歳出決算の認定	可	決
令和7年度藍住町一般会計補正予算	可	決
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可	決
藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可	決
藍住町子ども・子育て支援法第87条の規定による過料に関する条例の一部改正	可	決
戸籍総合システム機器更新業務契約の締結	可	決
(仮称)藍住町世代間交流施設整備事業の事業請負契約の締結	可	決
藍住町教育委員会委員任命の同意	山田昌俊氏	
固定資産評価審査委員会委員選任の同意	久次米貞美氏	
藍住町立小中学校教員用端末購入契約の締結	可	決

～議員提案～

宮本影子君の議員辞職の件	許	可
選択的夫婦別姓制度を導入するための国会審議を求める意見書	可	決

～諮問～

人権擁護委員候補者の推薦	佐野洋子氏、中野 稔氏、友兼 仁氏
--------------	-------------------

～報告～

- 令和6年度財政健全化判断比率の報告
- 令和6年度水道事業会計資金不足比率の報告
- 令和6年度下水道事業会計資金不足比率の報告

区 分		歳 入 額	歳 出 額	継続費通次繰越・繰越明許費	実質収支額
一 般 会 計		137億238万円	127億2,623万円	1億1,260万円	8億6,355万円
特別会計	国民健康保険事業	32億9,755万円	31億7,591万円	0円	1億2,164万円
	介護保険事業	31億4,063万円	28億8,185万円	0円	2億5,878万円
	介護サービス事業	1,205万円	1,205万円	0円	0円
	後期高齢者医療事業	5億2,225万円	5億905万円	0円	1,320万円

区 分		収 入 総 額	支 出 総 額	収益的収支純利益(消費税調整後) および資本的収支不足額
水道事業会計	収益的収支	5億3,460万円	4億8,227万円	3,084万円
	資本的収支	736万円	2億8,539万円	※△2億7,803万円
下水道事業会計	収益的収支	3億9,314万円	3億3,094万円	6,288万円
	資本的収支	1億2,069万円	2億3,155万円	※△1億1,086万円

※水道事業・下水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました。

※詳しい決算の内容は、10月発行の「広報あいずみ」をご覧ください。



●「選択的夫婦別姓制度を導入するための国会審議を求める意見書の提出についての請願」

請 願 者 とくしま選択的夫婦別姓制度実現フォーラム
代表者 永本能子 紹介議員 元木春香

「選択的夫婦別姓制度を導入するための国会審議を求める意見書」を提出

提 出 先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣

(概要)

日本では、婚姻における夫婦別姓が認められないために、望まない改姓、事実婚、通称使用などによる不利益や不都合を強いられる人が多く存在している。夫婦同姓を法律で定めているのは日本だけである。婚姻の際、約95%が夫の姓になっており、女性に多大な負担となっている。

通称使用では、「旧姓併記」「旧姓使用」での法的根拠がないために、本人であることを疑われたり、さまざまな事務手続きの煩雑さがある。働く女性にとっては改姓によって「キャリアが中断される」との声も切実で、通称使用の拡大では根本的解決にならない。

法務大臣の諮問機関である法制審議会は1996年、選択的夫婦別姓導入などを含む民法改正要綱を答申した。最高裁判所は2015年と2021年に夫婦同姓の強制は違憲ではないと判断しつつも、複数の反対意見が付され、制度のあり方は国民の判断、国会にゆだねるべきとしている。

選択的夫婦別姓制度は、同姓か別姓かを「選択」できるようにするもので、誰も強制されることのないしくみである。

最近の世論調査では約7割が選択的夫婦別姓制度に賛成し、若年層ほど賛成が多い。2024年6月には、日本経済団体連合会が導入を求める提言を発表した。同制度の導入を求める地方議会の意見書も次々採択されている。

2024年10月の衆議院選挙を経て、選択的夫婦別姓制度の導入に賛成する政党が国会で多数となり、同制度をただちに導入することは、国会が国民に対して果たすべき責任である。

よって、国会及び政府においては、選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための検討をおこなうよう、強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

元議員によるSNS投稿問題についての御報告

町民の皆さまへの説明と今後の対応

藍住町議会において、令和6年から令和7年にかけて、元議員によるSNS上での不適切な投稿が確認されました。投稿内容は、町長・議員・町職員に関するもので、事実とは全く異なり、誹謗中傷に満ちたものでした。

町議会では、こうした投稿内容を町政および議会への信頼を損なう行為であると重く受け止め、全員協議会において当該議員の行為について事実確認を行い、特別委員会では本人からの説明を求めました。

元議員からは、「投稿は自身によるもの」と認め、その後、「一身上の都合による辞職願」が提出され、令和7年9月9日付辞職願は、本会議において許可されました。

「SNSによる投稿問題」は、複数の報道機関でも取り上げられ、町民の皆様にも多大な御心配をおかけしました。

今後は、議会でも議員によるSNS利用や情報発信の在り方について検討を行い、再発防止に取り組むとともに、議員倫理の向上に一層努めてまいります。

<経過の概要>

日 付	内 容
令和6年12月	当時の議員によるSNS投稿が確認される
令和7年7月末	町長が開示請求を実施、議員本人と判明
令和7年9月3日	全員協議会で投稿を認める 特別委員会で説明を求める
令和7年9月9日	当該議員が辞職願を提出、議会で辞職を許可
令和7年9月以降	議会が再発防止策および倫理向上の取組を確認

<今後の取組>

- ・議員倫理条例の運用強化
- ・SNS利用に関する講習会の実施
- ・町民との情報共有・説明責任の徹底

<結び>

今後も藍住町議会は、公正・誠実な姿勢をもって町政に臨み、町民の皆様の信頼回復に努めてまいります。

誹謗中傷行為に対する藍住町議会の見解

近時、藍住町においてSNSや公開質問状などを通じて、町長・町職員・議員に対する事実に基づかない誹謗中傷が繰り返し行われております。過般、辞職された議員も同様の行為を繰り返しておりましたが、これらの行為は、町政や議会への信頼を著しく損ない、町民生活にとっても不利益をもたらすものであり、断じて容認できません。

言論の自由や意見表明は民主主義において尊重されるべきものですが、虚偽や中傷、人格(人権)否定は自由の範囲を逸脱し、社会全体を傷つける行為であります。

藍住町議会は正しい情報を町民の皆様にお伝えし、建設的な意見交換を尊重するとともに、心ない誹謗中傷や虚偽情報の拡散には、断固反対し直ちにやりやめるよう強く求めるものであります。

今後も議会は正しい情報を町民にお伝えし、透明性を高めながら町民の負託に応えるための努力を続けてまいります。

町民の皆様におかれましても、真実に基づいた冷静で公正な議論に御協力いただけますようお願い申し上げます。

常任委員会 主な質疑

9月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。
主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

委員長 永浜 浩幸

令和6年度 一般会計決算

〔保育所総務費〕

問 報酬、給与、職員手当等で予算額の20パーセントも不用額が出るということとは何かあったのか。

答 保育所の職員の給与に関しては当初予定をしていた職員数が確保できなかったため不用額が増えている。

問 他の部署でも同じように見受けられるが、それも同じ理解でよいのか。

答 保育所に関してはそういう理由である。

〔保健衛生管理費、西クリーンステーション管理費〕

問 不用額があり、給与なので何かあったのか。

答 令和6年度の当初予算のうち、給与等の人件費というのは、前年度の11月頃に予算を立てており、その

後の人事異動等で不用額等が生じているというの大きなひとつの要因と考えている。

〔清掃費〕

問 清掃費の額が大きいが、その内訳は。

答 清掃総務費、環境美化費、西クリーンステーション管理費、中央クリーンステーション管理費等で構成されている。

令和6年度 特別会計決算

〔介護保険事業〕

問 介護保険料の収納率が第9期介護保険事業計画の予定保険料収納率99・5パーセントを下回っている。給付費が上がっているのに対し、介護保険料の収納率が下がっているということは、この状態が続くと第10期計画期間における介護保険料が上がってしまうのでは。

答 令和9年度からの介護保険料については、第

10期の介護保険事業計画の中で検討して、定めていくことになっているため現段階で上る、下がる、据え置き等の回答はできかねる。

問 わずかだが予定収納率を下回っているのので、介護保険料の収納率を上げる施策や段取りをしていかなければならないのでは。

答 介護保険は65歳以上が対象であり、未納が発生すると保険料を支払うことが難しいため、保険料を滞納しないように65歳になった時点で口座振替依頼書や介護保険のパンフレットを送付し保険料の納付を促し、滞納がある場合はペナルティがある等の説明をするなど、徴収率の向上には努力している。



建設産業常任委員会

委員長 前田 晃良

令和6年度 一般会計決算

〔地籍調査事業〕

問 徳島新聞朝刊に地籍調査の進捗率に関する記事が掲載され、藍住町では前年度からの伸び率が、県内3番目に大きい2・2パーセント増となっているが実績とその要因は何か。また、本年度の状況はどうなっているのか。

答 令和6年度の進捗率は23・8パーセント、前年度比2・2パーセントとなっていたが、前々年度は2・9パーセント増となっている。地区の土地の面積の大小などにもより、率も異なっているため、一定の評価だと考えている。また、地籍調査の効果としては、災害復旧に迅速に役立つことなど、一定の理解が得られているのが背景ではないかと考えている。令和7年度は東中富地区3地区で牯傍示、直道傍示、権現傍示の0・29平方キロメートルについて、10月から2か月程度か

〔個別施設計画策定事業〕

問 国の補助金もあるようだが毎年実施しているもののなか。

答 社会資本整備総合交付金を活用している。また、本町において、個別施設計画策定事業にこの交付金を活用するのは初めてとなっている。

問 「舗装に係る維持管理を効率的に行うために必要な情報を得ることを目的に、点検を実施しました。」とあり、「調査結果で得た情報を基に個別施設計画を策定しました。」となっているが、修繕の必要性が高い順に進めていくとの記載があり、その点は理解できるのだが、なぜ個別

に設計するのか。

答 町道の状況に応じて設計する必要があるためである。

令和6年度 水道事業会計決算

〔建設改良費〕

問 令和6年度繰越額1億6490万7000円について、どのような事業のため繰越を行ったのか。

答 老朽化に伴う第2浄水場を更新するため取得した用地の造成工事の費用に充てるための繰越である。

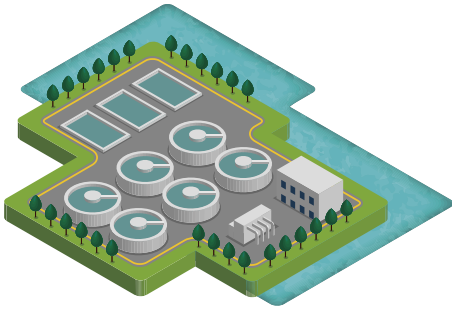
問 水道事業の貸借対照表の中から流動資金の未収金3241万7938円のうち、

水道料金の未収金はいくらか。また徴収率はどのようになっているのか。

答 未収金額3241万7938円のうち、水道料金の未収金は1809万4338円あり、徴収率は96・45パーセント。

問 水道料金の未収金を回収するため、水道料金を滞納している方については、給水停止などの対応をしていると思うが、令和6年度の給水停止の件数は何件か。

答 給水停止の予告通知が66件、そのうち給水停止の執行に至ったのは18件。



総務文教常任委員会

委員長 森 伸二

令和6年度 一般会計決算

〔外国語教育支援事業〕

問 英検補助の級別の内訳は。

答 2級が7人、準2級が22人、3級が72人、4級が35人、5級が27人。

〔適応指導教室事業〕

問 キャロツ子学級が966万7000円計上されているが、現状、何人ぐらい来ているか。また、過去から計算するとどれぐらい増減したか。

答 現在、キャロツ子学級に通っている生徒は、大体20名から30名の間で登録されている。実際通って来られる生徒については、その日によって数名という日もある。

問 学校も登校せずにキャロツ子学級にも行っていない方が相当いると思うが、その対応はどのようにしているか。

答 この夏休み明けについては欠席数について各小中学校に調査をしているとともに、学校に来ていない児童生徒について、学校の方から働きかけをしていくように指示している。

〔青少年相談事業〕

問 相談受理件数60件のうち、いじめ、不登校、児童虐待の様々な問題に悩んだ生徒に対

して、また、保護者からの相談として何件、専門機関につなげることができたのか。

答 警察を含めて2件。

〔災害物資集配拠点施設整備事業〕

問 勝瑞・住吉地区の実施内容これからどのような建物と住民への対応がされるのか、また当初計画は。

答 現在計画している東部地区の防災備蓄倉庫に関して、今後、実施設計をすることとしている。必要に応じて、広報等で住民の方に周知したいと考えている。

〔藍染普及推進事業〕

問 藍の館が前年度に比べて25%増の観光客の方が訪れたということだが何か新しい取組をしたかとか、どのような要因で増えたのか。

答 指定管理者を指定して、様々な運営を始めたところ徐々に観光客が戻ってきた。コロナ禍の影響が徐々に薄れたのが一番の影響かと思っている。

問 2階の展示場の入口からバリアフリーができていないのではありませんかという声も聞くがその対応はどうしていくのか。

答 建物の構造上、エレベーターや車いすを上げるものを付けたりなどが非常に難しいため現状はできていない。

問 館内の展示物の説明について、聞いたけど答えが返ってこなかったため説明ができるようになりたい。

答 今後きっちり説明できるように改善していく。

〔情報発信DX化事業〕

問 すぐメール、公式LINE等は様々な行政全般の迅速な配信が可能で、地域住民への情報提供が非常に効果的であると考えるが、登録者に対してどのような取組をしているのか。

答 新聞販売所をお願いをして、全戸ポスティングにより、公式LINEが導入されますので御登録くださいというようなチラシをお配りした。その後、令和6年度には、広報あいずみ等で周知を図り、広報の表紙に公式LINE、メールの登録QRコードを掲載している。

〔会計管理費〕

問 令和6年度藍住町一般会計歳入歳出決算報告書に係り、会計管理費について、役務費で予算が3480万円で支出が1820万円、不用額が1660万円となっているが。

答 公金収納関係の1件当たりの手数料について支払いするものであり、実際の件数のほうが見積もりよりも大分少なかったためこの金額になっている。

令和7年度 藍住町一般会計補正予算

〔デジタル基盤改革支援補助金〕
問 どういったものに使われるのか。

答 令和7年度末までに国の定める標準化水準に適合したシステムの利用が自治体に義務づ

けられるとともに、国の整備するガバメントクラウドの活用が求められている。本補助金はガバメントクラウド上で稼働する標準準拠システムへの移行にかかる経費について対象となるもの。

問 職員の労働環境の改善につながるという認識でいいのか。

答 自治体の標準システム、住民記録、情報報等のシステムについての国の定めによる標準化を行うための資金として交付されるものである。

問 一般質問でも職員のDX化を促進していくというふうな方針が示されたと思うが、その内訳はあるのか。

答 今後、県とかのDXに係るアドバイザーなどの派遣をい

ただしながら検討して進めていく。

問 内訳は。

答 現在こども家庭センターの児童福祉の担当の中で資格を持ったものに対する給与の補助金となっており、その補助金の増額分がここで計上されている。

〔仮称〕藍住町世代間交流施設整備事業

問 契約金額29億4250万の内訳は。

答 設計業務分が1億8700万円、建設事業分が27億50万円、工事監理業務分が5500万円。

問 建設業務分に関して解体費用は。

答 契約時の解体工事一式は1億368万6000円。みどり橋撤去新橋の架橋工事は2

億4852万7000円。

問 建物の解体について、勤労女性センターは設計のみで解体費用は入っていないのか。

答 別の補助金を活用できる見込みがあり、より財源的に有利に進めるため解体工事は別工事で発注することとしている。

問 物価高等で事業費も後になれば高騰していくと思うが、大抵いつ頃の着工予定を進めていくのか。

答 令和10年4月から。

問 避難所として洪水災害時に十分機能するため、避難者を受け入れることを想定した諸機能の配置や動線、また、防災対策の整備などどのような計画になっているのか。

答 これから設計していくことになるが、洪水での浸水災害への避難者としては2階以上の避難をしていただくことを想定している。

問 これから設計ということであるが、現時点ではどのような計画がまだされていないということか。

答 現時点での提案内容としては、約260人相当が避難できるように計画している。

問 みどり橋の撤去、新橋の工事について、3億3000万の工事費用が現在の工事を行っていく上でかなり大きなウエイトを占めており、もっと違うところで使ったらどうかとの意見もあるが、どのように考えているのか。

答 新しい橋についても今回の事業の整備に合わせて有効に利用するためのものである。

問 今回の全体の工事の中で国の補助金が唯出していないのがみどり橋であるが、これについ

てはどのように考えているのか。

答 補助の対象にはならない。

問 理由は。

答 あくまでもインフラ設備であるということで交付金の目的からはそれるため。

問 プロポーザル方式にした利点は。

答 新施設の設計施工、みどり橋の解体、新橋の架橋、藍翠苑の解体、外構工事等、多岐にわたっている。事業者からのノウハウや創意工夫が盛り込まれた実現性のある提案を採用することによって、より合理的で効果的な事業の目的を達成することができるということでプロポーザルを採用している。

問 決定した業者について、西松建設と教育施設研究所は文化ホールのごき予算的に増えたと思うが今回はどうか。

答 契約金額は現時点の物価に基づく契約金額となっている。今後、情勢によって増額となる可能性はある。

問 計画によれば3年間ぐらいかかると思うが、地元説明会とかをする予定はないのか。

答 事業スケジュール等が確定してきたら事業者が各近隣の住民への説明にいくようにお願いしたいと考えている。

問 町からの接触はないのか。

答 事業体の提案にもよると思うが、不足する場合、あるいは必要な場合にに応じて対応していきたい。

問 世代間交流施設建設費の項目、財源構成の内訳を

改めて議会に提出する必要があるのではないのか。

答 財源の内訳については、先の全員協議会で説明させていただいたという認識である。

問 事業請負契約の費用について契約金額29億4250万円となっており、今回の請負契約の内容を見ると1000分の15の変動があれば契約額の変更ができる

とある。

答 値上がりは物価高であるため、仕方ないところもある。事業者には、創意工夫しながらできるだけ抑えていただきたいと話をした。

問 物価も賃金も毎年上がるかも分からない。1000分の15では大きく上がるような気がして懸念している。

答 基金を活用しているため、増加分が一般会計に食い込まないよう調整もしたいと考えている。

問 基金の残りが18億あり、今回10億使って残りが8億となると思うが、この8億の中で算段するという理解でいいのか。

答 できる限り一般会計に食い込まないように考えていきたい。

問 契約の履行期間について。

答 設計業務は令和7年10月1日から令和10年3月31日まで。建設業務は令和8年4月1日から令和10年9月29日まで。工事監理業務は令和8年4月1日から令和10年9月29日まで。

問 対価について設計業務1億8700万円、建設業務27億50万円、工事監理業務は5500万円でいいのか。

答 そのとおりである。

問 請負契約に当たり、契約保証金は幾らになっているのか。

答 2億9425万円。

問 事業請負契約案の中で、物価指数等とあるが、この物価指数というのは何を指しているのか。

答 一般財団法人建設物価調査会が毎月公表している建設物価建築費指数を用いることとなると思われる。建築費指数について、建物を建築する際の工事価格の変動を明らかにすることを目的に作成されており、物価としての建築費の時点間や地域間での比較、建築費の動向に関する時系列的な観察が可能となっている。

問 藍住町を考える会が事業の中止を求める要請書と署名を町に提出されたが、要請されたグループの団体とその後、要請について対話をしたのか。

答 していない。

問 町長がこの要請書の思いをどう受け止めたのか。

答 2期目の公約にもしているが、世代間交流施設はこれからの藍住町でなくてはならない施設と考えており、しっかりと進めさせていただきたい。





おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英



9月議会会議録

コンプライアンス推進について

職員のコンプライアンス意識の向上に努めている

問

令和5年、町の学校給食用の肉の調達をめぐる官製談合事件で副町長ら3人が逮捕された。事件を受けて令和5年5月に不祥事の発生防止に向けた行動指針が策定された。委員は町長・副町長・教育長他・課長級・幼稚園の園長・中央保育所の所長で構成されているが不祥事を起こしておきながら、なぜコンプライアンス推進のための会が身内だけで外部の委員が一人もないのか。構成委員決定プロセス詳細と外部の委員のいない理由はなぜか。

答

新たな組織として、町長をトップにすべての課長級職員が構成員となるコンプライアンス推進会議を設置することとした。法令遵守だけではなく、公務員として求められる社会規範や社会的責

任を自覚し、日々の業務の中で適切な行動がとれるよう組織的に取り組むことが、推進会議の役割であり、まずは組織内の管理職が自らの責任のもとリーダーシップを発揮し、率先してコンプライアンスの徹底を進めていくことが必要不可欠であると考えているため。

問

職員からのアンケート回答をもとに何もアクションしていないのではないか。

答

調査結果について言及することは、本来の目的に照らして適切ではないと考えている。

中央保育所の在り方について

今後も保育現場の実情や課題に応じた施策を検討していきたい

問

障がい児を中央保育所に入所させることになつた経緯は。

答

令和2年9月議会一般質問において答弁をしたとおり。

問

今年度より各保育所で障がい児を受け入れるようになった経緯は。

答

入所児童の増加に伴う業務改善のため、保育所の新年度入所に係る申請受付時期や入園決定が例年よりも早くなったこと、入所面接を各内定保育所で実施いただくようになったこと。

問

中央保育所の空いている南棟を使って障害児達支援事業所が入る計画はあるか。

答

今のところはない。

武道館について

現在アスベスト含有調査を実施している

問

武道館は現在使われていない。婦人センター2階に畳を持っていった練習していると聞くがどうしてか。

答

天井にアスベストが含有されている可能性がある。ある耐火ボードが使用されており、この天井に施している塗装が全面的に剥がれ落ちている。アスベストが飛散した場合、利用される皆様の健康に影響を及ぼす恐れがあるため使用を中止している。

問

この武道館で練習した本町出身の嘉重春樺選手が世界柔道選手権で金メダルを取った。本町にとっても非常に名誉なことである。嘉重春樺選手を名誉町民にして藍住町のPR大使にしてはどうか。

答

藍住町名誉町民条例の趣旨、本町の産業、社会文化の発展に著しく貢献という部分には当てはまらないケースではないかと判断している。また、本町のPR大使のあり方について、他の自治体の取組事例などを参考に、嘉重選手を含め、広く検討していく必要があると考えている。



その他の問

- 町立幼稚園の今後について
- 町営中富団地の耐震について



くりしま かずよし 議員
栗島 和義



9月議会会議録

児童生徒の健康診断について

できる限り受診につながっていくような取組は必要である

問 本年度の小中学校における健康診断を未受診であった児童生徒に対しどのようなフォローアップが行われているか。

答 当日の体調不良や長期の欠席のため、学校で受けられなかった場合については、健診結果を通知する際に未受診であることを表示し、個別対応としては、学校医での受診を案内している。

問 保護者との連携を含め健康診断を支援の入り口として位置付け教育・福祉・医療が連携した支援体制の構築を行うべきではないか。

答 的確かつ適切に対応できるよう、青少年相談室やこども家庭センター等関係部署や専門機関との連携に努めていきたい。

災害時における避難所等へのキッズスペースの導入について

子供たちやその保護者の方々が安心して過ごせる避難所環境の実現を目指していきたい

問 今後の災害に備えた避難所環境の整備においてキッズスペースの導入を明確に方針化し地域防災計画への具体的な位置づけを行うべきではないか。

答 今後、改定時には最新の国の避難所運営等避難所生活支援のためのガイドラインや、県の避難所運営マニュアル策定指針を参照しながら改善をしていきたい。

問 災害発生時キッズスペースを円滑に設置・運営できるように民間の支援団体等と連携した運用体制を構築すべきではないか。

答 子供たちの心のケアや避難所運営の負担を軽減するという観点から、非常に有効な手法と考えている。



防災フェスの様子

リチウム蓄電池をはじめとする小型充電式電池の回収について

適切な回収に努めていきたい

問 家庭から排出されるリチウム蓄電池をはじめとする小型充電式電池の回収は現在どのような行われているのか。

答 取扱のメーカーや販売店での回収を基本に案内している。西クリンステーションにおいては、膨張していないリチウムイオン電池などの製品に限り、直接持ち込んでいただき有料で受入れをしている。

問 膨張したリチウム蓄電池も今後、本町において適切な回収を行っていく考えはないのか。

答 発熱発火の危険性が非常に高く、受入れが難しい状況にあり、自主回収をしている製造メーカーや販売店を案内している。しかし、町民の皆様の利便性を考慮し、膨張している電池も回収できるように体制の整備を進めている。

問 リチウム蓄電池が取り外せない製品について本町公共施設内に小型家電回収ボックスを設置し拠点回収を行うべきではないか。

答 公共施設への小型家電回収ボックスの設置について今後検討を進めていく。

問 注意喚起や普及啓発を継続的に実施していくことが重要であると考え。現在の取組に加え、今後、どのような方策を講じていくのか。

答 適正な捨て方や、火災防止に関する啓発資料を作成し、学校教育の様々な機会を活用して、児童生徒を通じて家庭への周知を図りたい。また、啓発看板の設置など効果的で多様な方法も検討していきたい。

もと き はるか 議員
元木 春香

9月議会会議録

図書館2階農業振興センター の臨時的自習室の実施状況と 今後の取組について

場所の選定や管理方法を検討してい
きたい

問

今回の開設では高校生ボランティアの皆さん
や教育支援員の方々に加え教育長や次長にも
繰り返し足を運んでいただき学習補助や見守り体
制を整えていただいた。チラシやポスターなど広
報面での課題として挙げられたが本町として今後
の方針は。

答

場所や開設日数、また広報やライン等の周知
方法について、関係機関の協力を得ながら、

夏休み等の長期休業日の開設や（仮称）世代間交流
施設に設けられるオープンスペースにおいて、読
書や自習など学習支援の場として有効な利用が図
られるよう検討していく。

低学年の児童を含む学習機会 を支える町づくりについて

効果的な協働について検討していく

問

国はすべての子供が家庭の事情に左右されず
学習の機会を継続的に確保できる体制を地域
全体で支えることが重要とされている。特に低学年
から基礎学習や学びへの抵抗感を和らげることが将
来につながる支援となる。本町においても教員不足
が深刻な中、不足している学習機会や支援を今後ど
のように進めていただけるのか。

答

特別支援教育支援員や町費助教諭を適切に配
置することにより、児童の指導の充実等、教
育環境の整備を図っていきたい。



産後ケア事業の現状と利用 促進に向けた取組について

妊産婦やその家族へ寄り添った支援
や取組、さらなる充実を図ってい
きたい

問

県内では妊娠中から産後ケア利用券を交付す
る自治体も多い。本町でも妊娠期からの交付
や手続きの簡素化といった視点から交付時期、制度
運用を検討していただけないか。

答

現在の方法を基本に今後も実施していきたい
と考えている。また、今年4月からは国の新
たな施策として、妊婦等包括支援事業が創設され、
本町でも開始した。

問

特に産後の大変な時期を過ごす母子にとって
オンライン予約は負担軽減と利用促進につな
がる。オンライン申請導入について本町の考えは。

答

これまでの方法を継続していきたいと考える。
今後、利用者に有益となるシステムが構築さ
れたら町としても活用する方向で検討していく。

問

公式LINEなど身近な情報発信ツールを活
用した周知をどのように進めていくのか。

答

今後も制度の認知度を高め適切に御利用いた
だけるよう、身近な情報発信ツールを活用す
るなどの周知に努めていく。

その他の問

○ファミリーサポート事業の利用促進
と依頼会員の負担軽減について



はやし しげる 議員
林 茂



9月議会会議録

地球温暖化から地域を守る

ゼロカーボンシティの実現には多大な投資と長期的な計画が必要

問

国連のグテーレス事務総長は、「地球温暖化の時代は終わった」「地球沸騰化の時代が来た」「もはや空気は呼吸するのに適していない」「暑さは耐えがたい」「産業革命の時から気温を1.5度の上昇まで抑える」という目標がある。そのためには国連は2035年までに、この温暖化ガス、温室効果ガスを2019年比で60%削減するという目標があると言。日本は、原発と火力発電依存から自然再生エネルギーに大きく切り替えることが必要であるため町の施策として実施できないか8点を伺う。

一点目、文化ホールは、災害避難場所であり太陽光発電を設置すること。

安定した電力供給が可能な自家発電機を保有する現状において、太陽光発電システムの追加導入は適切でないと判断した。

二点目、町民体育館に災害避難場所及び競技場にふさわしい太陽光発電設置すること。

現状では多額の費用をかけて追加導入することとは、財政上また効率的な災害対策の観点から適切ではないと考えており、新たな設置は考えていない。

三点目、小中学校に「緑のカーテン」を作ること。

環境学習の一環として設置する場合、一定の意義はあると考えられるが、施設全体への設置は課題も多く、適当ではないと考えている。

四点目、藍住町住宅用太陽光発電システム等普及促進補助事業を行うこと。

住宅用であっても個人や企業が利点や問題点を総合的に踏まえた上で導入されるものと考えており、設置を推進するための助成については、現時点においても導入は考えていない。

五点目、藍住町電気自動車等普及促進補助事業を行うこと。

様々な環境がある中で、電気自動車の選択については、個人や総合的に判断されるものと考えており、公平な予算運用にかかわらないとは言えないため、現時点で補助事業を行う予定はない。

六点目、高齢者・障害者世帯にエアコン購入費補助金7万円を補助すること。

対象世帯には既に自身自身の資金で設置をされている方もいる。公平性が保たれないことや、補助対象を限定することの説明を明確にお示しすることができないことから、現段階で補助金を交付する考えはない。

七点目、藍住町は、ゼロカーボンシティ宣言を行うこと。

今後、適切な時期に宣言を行うことも視野に入れながら、十分勘案した上で慎重に検討していきたいと考えている。

八点目、藍住町役場など町の施設で使用する電力は、新電力に切り替えること。

県及び県内の他市町村の動向や国の政策方針なども注視しながら、本町にとって最も適切な電力調達方法について情報収集に努めていきたいと考えている。





に い じゅんいち
新居 純一 議員



9月議会会議録

投票率向上について

特に若者に向けた啓発活動を実施していきたい

問 投票弱者と言われる方々が、投票をしやすくなる移動式期日前投票所のようなユニバーサルな環境を設けては。

答 重要な問題ではあるが、近隣の市町村に比べて特段、悪な環境にあるとは思っていない。今後、状況が変わる場合に検討する必要があるかと思うが、現時点ではまだ早いと認識している。

問 町内8箇所の病院等(定員約340人)での不在者投票の有無、及び実績状況は。

答 令和3年の町長選挙39人。令和6年の町議会議員一般選挙14人。第50回衆議院議員総選挙17人。第27回参議院議員通常選挙17人。いずれも町に選挙権がある方である。

問 郵便での不在者投票ができる該当者数及び周知方法は。

答 身体障害者手帳については、記載された障害の種類等、級により判定されるが、延べ378人が対象。なお、複数該当する方を含む。傷病者手帳は0人が対象。介護保険の被保険者証は、要介護5と書かれた方153人が対象。周知については、広報あいずみに選挙特別号並びに町ホームページにて行っている。

問 他の自治体の取組等を参考に、新たな啓発活動を行ったのか。

答 他の自治体の研究までは至っていない。

町職員の年次有給休暇について

有給休暇を取得しやすい職場づくりが何より重要である

問 年次有給休暇の取得日数が少ない。このような状態では、町職員の心身の疲労回復、リフレッシュはできない。月1回定期的に年次有給休暇を取得することができれば、組織力の向上が図れ、職員の定着につながるのではないか。

答 実現可能な制度設計と職場環境の整備に向けて段階的に取り組んでいきたいと考えている。

その他の質問

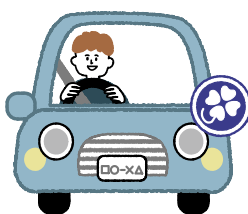
○ふるさと納税について

図書館の障害を持つ方への対策について

現在、検討を進めている

問 前庭に障害を持つ方の来館時のための駐車スペースを設けては。

答 東側の既存駐車場に加え、前庭に障害者用駐車スペースの設置を計画している。現在、費用の見積額の精査など、事業化に向けた準備を進めている。



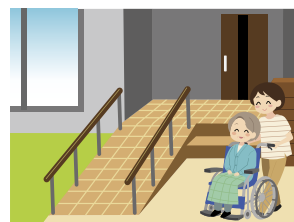
藍住町立図書館

議場に字幕モニターを設置しました

令和7年第3回定例会より、本会議場での発言をリアルタイムで字幕表示させるモニターを設置しました。

これは、昨年度より議会改革調査特別委員会において協議を進めてきたものであり、聴覚に障害をお持ちの方をはじめ、音声聞き取りづらい方や、発言内容を視覚的に確認したい方等により分かりやすく伝えることを目的に導入したものです。

今後も、議会傍聴のさらなる機能充実を図り、より一層の開かれた議会を目指してまいります。



10月16日、17日に第11回国コンパクトタウン議会サミットが北島町で開催されました。

この全国コンパクトタウン議会サミットは、2009年に香川県宇多津町で初めて開催され、面積が15平方km以下（現在は20平方km以下）のコンパクトな町を対象に今年は14団体の町議会が一堂に会し、本町議会から11名の議員が参加しました。

基調講演として、早稲田大学デモクラシー創造研究所地域経営部会長 中村健氏より「人口減少&AI時代の地方議会の役割」と題した講演が行われました。町長在職時の経歴を振り返りながら、今

第11回全国コンパクトタウン議会サミットに参加

議員研修報告

後の人口減少や行政サービス
の在り方などの課題について、また、議会の役割や責任
について学び、大変有意義な
研修でありました。



定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は12月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。
そちらをごらんください。

次号は2月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政、議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時には、氏名を掲載させていただきます。
- ③字数は500字以内。
- ④掲載月を調整する場合があります。
- ⑤御意見の内容によっては、「町民の声」として取り扱わない場合もありますので、あらかじめ御了承ください。

令和7年度 徳島県町村議会 議員研修会

8月8日、令和7年度徳島県町村議会議員研修会が開催され、本町議会から11名の議員が出席しました。

政治ジャーナリスト／元NHK解説副委員長の島田敏男氏より「参院選後の政治情勢」と題した講演では、物価高や人口減少、地域経済の疲弊という課題の中で、今後注視すべきポイントを詳しく説明する内容でありました。

次に、朝日新聞コンテンツ政策担当補佐役／前政治部長の林尚行氏より「日本の政治、何が起きているのか」と題した講演では、参院選で起きた日本政治の地殻変動を4つの特徴や2つの注目点から学び、現在の政局を分かりやすく説明する内容でありました。



普通救命 講習

8月20日、普通救命講習が行われ、前田議員が受講しました。講習は心肺蘇生法やAED、止血法等の実技を含む内容でありました。今後定期的な講習を受け、万が一のときに適切な行動がとれるよう、しっかりと身につけていきたいと思っています。



矢上防災 備蓄倉庫視察

9月22日、藍住町防災対策特別委員会主催で、矢上防災備蓄倉庫の視察を行い、議員7名が参加しました。藍住町総務課危機管理室より、防災備蓄倉庫の概要や備蓄品等について説明を受けた後、倉庫内を見学しました。3階建ての施設には、アルファ米を補完するための冷蔵庫や物品を昇降するための設備等があり、備蓄品で消費期限等のある食料や飲料は、ローリングストックを活用しながら管理が行われているとのことでした。

―矢上防災備蓄倉庫に行ってみて
感じたこと―

- ・ 精米を冷蔵庫に保管し、賞味期限に近づいた順に学校給食で利用して、新たな精米を補給しているのには感心した。
- ・ この倉庫だけでは備蓄品の量が少ないと思われるので、東部地区での防災倉庫建設が待ち望まれる。



避難訓練

9月24日、議会定例会終了後に、藍住町防災対策特別委員会主催で、本会議中に被災した場合を想定した避難訓練を実施し、議員13名が参加しました。初めての議場内におけるシェイクアウト訓練でしたが、地震発生直後の揺れによる被害から自分の身を守る安全行動の大切さを学ぶ良い機会となりました。シェイクアウト訓練の後、防災ヘルメット着用訓練も併せて行いました。



藍住町議会夏休み絵画コンクール入賞者

“応募総数242作品”

たくさんの御応募ありがとうございました

最優秀賞



「住吉神社」

藍住東中学校 3年 濱田 華音

優秀賞



「藍住大好き」

藍住東小学校 4年 前田 智輝

入賞



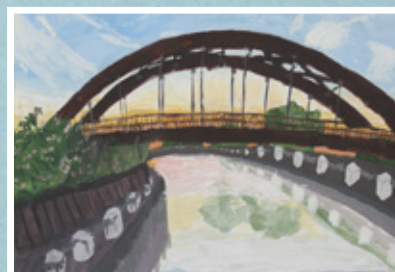
「大好きいっぱい藍住町」

藍住北小学校 4年 林 美月



「THIS IS 藍住！」

藍住南小学校 5年 尾形 星空



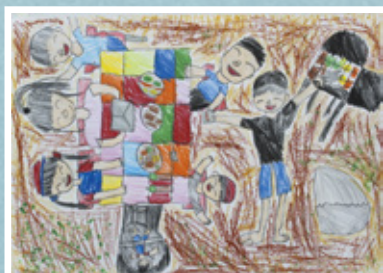
「みどり橋の風景が
好きなので、かきました。」

藍住南小学校 5年 藤本 純実



「しょうずいししまいをみたときの
びっくりしたさもちをえにしました。」

藍住西小学校 1年 久次米 千鳥



「さくらづつみ公園でバーベキュー」

藍住西小学校 1年 山崎 莉子



「藍住町バラ園」

藍住中学校 1年 松本 若奈

わたしの一言

笠木 矢 野 宏 行 氏

私は藍住町に生まれ育ち、今では我が子もこの町で暮らしています。近年、藍住町は人口が増え、ますます多様な世代が共に暮らす町となってきました。だからこそ、誰もが「藍住町に住んで良かった」と思えるような、安心・誇り・ぬくもりのある街づくりが求められていると感じます。その実現には、町民一人ひとりの意識とともに、藍住町議会の果たす役割が非常に大きいと考えています。ところが最近、町議会議員によるSNSでの誹謗中傷が報道され、議員辞職に至ったというニュースを目にしました。町民として非常に残念で、心が痛む思いです。こうした出来事は、町の信頼を揺るがすものであり、未来に希望を持てる町であり続けるためにも、議会には一層の透明性と誠実さをもって、町民の声に真摯に向き合っていただきたいと強く願っています。

私も、地域の一員として、次の世代にしっかりとバトンを渡せるよう、日々を丁寧に過ごしていきたいと思います。



議会のうごき

8月

- 6日 藍住町議会広報特別委員会
▼122号の校正について
- 8日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会定例会及び全員協議会(徳島市)
徳島県町村議会議員研修会(徳島市)
- 18日 中学生海外派遣団結団式
令和7年度徳島板野西部防犯連合総会(板野町)
- 21日 普通救命講習
四国新幹線整備促進期成会東京大会(東京都)
- 22日 徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会及び要望活動(東京都)
- 26日 議会運営委員会
令和6年第3回藍住町議会定例会の日程等について
- 29日 藍住町防災対策特別委員会
▼本会議中に被災した場合を想定した避難訓練について
- 29日 議員資質向上の調査特別委員会
▼議員活動の在り方について
- 29日 板野郡町村議会議長定例会
徳島県戦没者追悼式
- 3日 議会運営委員会
▼一般質問の通告について
- 9日 議会定例会開会
▼(仮称)藍住町世代間交流施設整備事業について
- 4日 議員資質向上の調査特別委員会
藍住町防災対策特別委員会
▼矢上防災備蓄倉庫現地視察について
- 5日 本会議中に被災した場合を想定した避難訓練について
- 5日 議会運営委員会
建設産業常任委員会

9月

- 8日 総務文教常任委員会
議会運営委員会
- 9日 9月議会定例会
議会運営委員会
▼議員資質向上の調査特別委員会
今後の方針について
- 12日 金婚・ダイヤモンド婚記念品贈呈式
- 15日 9月議会定例会一般質問 p8 p12
- 19日 議会運営委員会
▼付議事件の追加について
- 22日 備蓄倉庫視察
9月議会定例会閉会
- 24日 議会運営委員会
防火訓練
- 26日 議会運営委員会
後期高齢者医療広域連合例月出納検査
- 29日 板野東部消防協会臨時会(北島町)
- 1日 職員人権研修
8日 藍住町議会広報特別委員会
▼123号の作成について
- 8日 四国地区町村議会議長会研修会(愛媛県)
- 15日 議員資質向上の調査特別委員会
▼議員の資質向上に係る調査について
- 16日 藍住町議会広報特別委員会
板野郡議会議員研修会
あいづみ防災フェス
- 23日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会例月出納検査及び定例監査(徳島市)
- 27日 第十堰対策促進期成同盟会
通常総会
- 28日 徳島県町村議会女性議員連盟研修会(徳島市)
- 29日 上板町議会正副議長就任挨拶
▼合同庁舎における電話通話録音機器の導入について

10月

編集後記

秋の気配が日ごとに深まり、木々の色づきが楽しみな季節となりました。今号では、町内の小中学生を対象とした藍住町議会夏休み絵画コンクールの入賞作品を紹介しています。子どもたちの感性豊かな表現や、のびのびとした色づかいに心が温まりました。これからも藍住町の未来を担う子どもたちの成長を応援していきたいと思っています。

竹内 君彦

藍住町議会広報特別委員会

委員長 竹内 君彦
委員長 元 木 春 香
委員 栗 島 和 義
委員 新 居 純 一
委員 前 田 晃 良